

ASA

第63号

2016年 8月20日

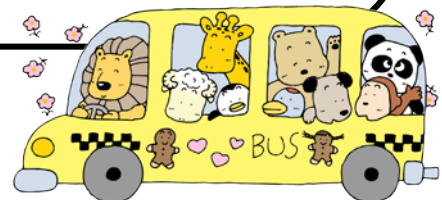
ずうぼらだよい



シロフクロウの赤ちゃん“ビービー”公開はまだかな？

63号 もくじ

- ・ ツアーガイドレポート 2~3
- ・ 作業グループ活動報告 4~5
- ・ 研修報告「ハズバンダリートレーニングを用いた
老齢アフリカタテガミヤマアラシの健康管理」 6~7
- ・ 8月の連絡会報告 8
- ・ ひつじ村から 9
- ・ あり得ないこと？いいえあり得るのです！ 10
- ・ コラム「動物の名前の植物」『本の紹介』 11
- ・ 動物園ニュース 12
- ・ 予定表（9~10月） 13~14





ツアーガイドレポート7月



- ・開催日：平成28年7月3日(日) 10:30~11:30
- ・天候：曇りのち晴れ
- ・解説動物：シマウマ(Y.M) キリン(T.T) ⇒ゾウ(Y.T) ⇒リクガメ(S.S)
- ・ボランティアスタッフ：A、I、O、K、D、T、N、H、H
- ・参加人数：15名

梅雨の合間に雨が上がったこの日は、ややお客さんの足は悪いようでしたが、暑さにも負けず動物たちは元気でした。この日のツアーガイドは、S.MさんとT.Tさんの漫才の掛け合いのような楽しいガイド、物知り博士のようなY.Tさんのガイド、お子様を助手にほのぼのとした執行さんのガイドと様々な形のガイドを提案していただきました。

*シマウマのY.MさんとキリンのT.Tさん

ツアーガイドの形になって2年目ですが、ダブルキャストで漫才の掛け合いのようなガイドは初めてのように思います。シマウマとキリンの比較もでき、楽しいガイドでした。

シマウマもキリンも足は4本。では、指の数は何本?ちょっと見には、同じように見える足ですが、クイズで問われると「あらっ? 違うの?! 何本?」とじっくり見るきっかけになります。答えは、シマウマの指は、1本。その指は中指。キリンの指は2本。その指は中指と薬指。さらに、爪の実物を提示する。触った子どもが、「太鼓みたい。」と言いながらコンコンとなる音を楽しむ。



*ゾウのY.Tさん

ガイドボランティア2年目のTさんが、満を持して登場。勉強熱心なY.Tさんは沢山の引き出しをお持ちです。例えば、初めてゾウを日本に入れたのは、かの足利義光とか。ゾウは、昔「サキ」と言われていた。など。

メイについて紹介。推定年齢17歳。足の太さ：右足65cm、左足74cm。牙の長さ：右29cm、左22cm。耳の大きさ：縦1メートルあまり、横約70cm。背の高さ2m30cm。睡眠：1日3~4時間くらい。左右の大きさは、ずいぶん違うのだ。ゾウは、賢く器用だそう。自然界のゾウについても紹介。厳しい自然の中で生きている。



*リクガメのS.Sさん

3人のお子さんと一緒にガイド。お子さんがフリップを持ったり、カメの甲羅の標本をお客さんに見せるお手伝いをしたりと、ほのぼのとしたガイドでした。

カメを大きく分類すると、リクガメ・ヌマガメ・ウミガメ。一番の違いは、手の形。リクガメは、地上を歩くので、どっしりとした手で、爪もある。ヌマガメは、水かきがある。ウミガメは、ボートのオールのような形で泳ぐのに適している。驚きは、卵。土の中に産み落とされた卵は、28度以下だと、雄として生まれる確率が高い。28、29度では、雄と雌が半々。30度以上だと、雌が生まれる確率が高くなるそう。他にも、背骨についてなど興味深い話でした。

(報告：H.A・T.T)

ツアーガイドを終えて

*** リクガメの S.S さん**

今日は、リクガメの担当をさせていただきました。リクガメは2回目のツアーガイドだったのですが、やはり緊張でした。

お子さんにも分かるように短く、わかりやすくを心がけましたが、少し専門の話が多かったかな?! という反省がありました。

それでも、3人の娘達と参加させていただきありがとうございました。



*** キリンの T.T さん、シマウマの Y.M さん**

いつもどおりサバンナテラスで開始。暑い中、20名弱の見学者がいらっしやっつた。

シマウマが近くに寄って来たり、生まれて間もない仔もいたりして見ごたえのある光景でした。クイズ形式で、シマウマとキリンの指の数や頸椎の比較を実施したところ子供たちに好評でした。それぞれエサのサンプルを並べてその硬さや特徴と口歯の構造を説明しました。

10分の制限時間の中では整理してテーマを絞り、何を話すかを精査する必要があった。今回はマイクの数が足りずに使用できなかったが。見学者の人数が多いときはどうしても後ろまで声が届きにくいので、特に屋外ではマイクはあった方が良い。

また、高知県立のいち動物公園からキリンのイブキが来園し、計4頭になった事でより賑やかで活気がある様子は、シマウマだけでなくキリンの繁殖への期待を観覧者に抱かせたように感じた。

<反省会>

ツアーガイドの後、動物科学館の2階で反省会をしました。本日の担当者からは、

Mさん: 日差しを避ける位置で解説した。テーブルの前に子どもが集まったので子ども中心の話をした。

大人対象だったら別の話をしたと思う。「終わり」のタイムカードもあったらいい。

Tさん: 10分で何を話たらいいか悩んだ。10分では、写真しか資料が使えなかった。

☆ 3人ともおもしろかった。TさんとMさんの掛け合いが楽しかった。ゾウはユニークないつもと違う話が聞けた。子ども3人のアシスタントは、ほのぼのとしてよかった。

☆ 子ども目線で座って話すときは、はじめにひとこと言ったらよかった。

☆ チケットはいつ、どこで配ったらいいか。30分前からは集合場所の近くで残りのチケットを配るのがよいのでは。午後にツアーガイドがあるときは、午前から配ると、チケットを取っても帰ってしまうことがあるので、お昼頃から入り口のところで配り始めた方がよい。

☆ チケット置き場に、ツアーガイドの案内パネルを貼って分かりやすくしてはどうか。早速準備してやってみよう。

熱心に意見交換をして、改善策もだされました。

(記録: H. A. T. T)



作業ボラ活動報告



6月11日(土)

ピーチク広場岩山ポーチェラカ植付け。カボチャ畑跡ヒマワリ追加植付け。

全域花がら摘み、液肥を追肥。ビニールハウス作業場の整理。

(参加者 17名)

7月2日(土)

ビニールハウス内でマリーゴールド、サルビアの種蒔き。

レストラン周りのプランター追肥、草取り。

(参加者 20名)

7月9日(土)

有志で作業

正面玄関周辺、売店前の丸鉢、大鉢ヒマワリ植付け。

レストラン周りヒマワリ植付け。

(参加者 16名)

7月16日(土)

ビニールハウス内で葉牡丹の種蒔き。

ヒヒ山前大丸鉢不良な苗木の植替え。

カボチャ畑跡ヒマワリ撤去、草取り、ポーチェラカ植付け。

8月6日(土)

ビニールハウス内で葉牡丹のポット上げ。

正面玄関周辺の丸鉢、大丸鉢追土入れ。

サツマイモ畑の草取り、天地返し。正面駐車場ゲート横の草取り。

(参加者 15名)

* 活動日以外に小人数で見回り確認等を実施しました。

* 7月より毎日輪番で灌水作業を実施中です。

(報告者 : K.S)

作業グループのみなさんへ

☆ 9月・10月の活動日のご連絡です

- ・ 9月…3日、17日(第一・三土曜日)
- ・ 10月…1日、15日(第一・三土曜日)

* 作業の進捗状況により上記以外に活動日がある場合があります。

* 灌水作業は引き続き10月まで毎日(雨天中止)輪番でおこないます、ご協力よろしくお願ひします。





作業ボラ活動報告



7月16日(土)久しぶりに作業ボランティアに参加です。

まずは葉ボタンの種まきの為、作業場へ向かう途中にある第2クロサイ舎の横を通過し長寿世界一になったクロサイ界のレジェンドことクロサイのハナにご挨拶。今日の13:30から一般公開がありますが、一足先にご対面、元気な姿を見ることができうれしいスタートです。

育苗4箱分に葉ボタンの種を植えていきます。まずは赤玉土と培養土を混ぜて、マグアンプKをプラス。これを育苗に平らに引いてその上に種まき用培土を上を敷きます。2層にした方が発育が良いのだそう。平らにした土に割りばしで均等に6列の溝を作り、その溝に葉ボタンの種をまいていきます。種はとっても小さくて均等に土に乗せていくのにみんな真剣です。楽しくお話をしながらしていた作業もここでは黙々、集中していました。

種を蒔き終えたら、やさしく土をかけ、軽く押さえて土と種を密着させてからお水をあげて終了。芽が出てくるのが楽しみです。

その後はひたすらポーチュラカをポットに植えていきました。YさんとIさんと3人で時折お話しつつ、作業に没頭。ちぎって植え替えるだけでもまた根を伸ばして成長していくポーチュラカに驚きです。かなりの数のポットにポーチュラカを植えました。



土を触って、時々虫たちが現れて、黙々と手を動かして何も考えずにひたすら作業に集中する、やり終えた後のなんとも言えない満足感が私は大好きです。終わった後の冷たいお茶も最高！お茶お菓子をご用意してくださっている皆さまに感謝です。

まだまだ、花の育て方のいろはもわからない私ですが、先輩の皆様から話を聞いたり、楽しい会話の中で少しずつ学んだりしていきたいと思えます。発芽が難しいというサルビアがたくさん発芽していました。ひまわりの次はマリーゴールドと楽しみがいっぱいです！

-おまけ-

ぴーちくパーク前にある斜めになっている畑の場所をどうやら「2000万の所…」と知っている…ように聞こえる…??

あそこは何という場所なんですかと聞くと来園者が2000万人達成したときにあの場所に葉ボタンで“ありがとう2000万人”と文字を作ったそう。そこから「2000万の畑」「2000万」と呼んでいるみたいです。初めて知りました～!



(文: Y.H)



研修報告「ハズバンダリートレーニングを用いた 老齢アフリカタテガミヤマアラシの健康管理」



講師：梅田 拓也 技師



アフリカタテガミヤマアラシ（以後ヤマアラシ）について

学名：Hystrix cristata

分類：ネズミ目ヤマアラシ科

寿命：15年～20年

食性：主に植物食（稀に骨などもかじる）

体重：12kg～25kg

体毛：非常に硬く鋭い（刺さると痛い）

ヤマアラシの飼育

体毛が硬く鋭く、担当者に危険が及ぶ可能性があるため、従来の飼育方法では密な接触は避け、移動や治療など接触が必要なときは、麻酔銃で麻酔をかけていた。飼育係が獣舎に近づいたり、獣舎の中に入ったとしても毛を逆立て、飼育個体にストレスをあたえていた。麻酔は弱っている個体や老齢個体にさらに負担をかける。これでは、定期的な健康管理や細かいケアが困難で、体サイズ等の測定ができなかったために飼育や調査で参考のできるデータが少なく、客観的な比較ができなかった。

安佐動物公園のヤマアラシは、サヤカ（雌）19才、ヒロシ（雄）18才で、2頭ともすっかりおばあちゃん、おじいちゃんだ。この2頭の健康管理のためにハズバンダリートレーニングを用いる取り組みを始めた。

ハズバンダリートレーニングとは

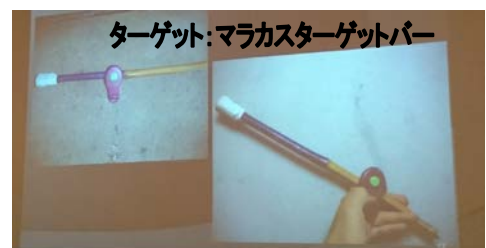
無麻酔で、飼育動物に負担をかけずに、飼育動物の健康管理、生態および心理面での管理を可能にするための行動訓練である。そのトレーニング自体が、飼育下での精神的刺激や担当者とのコミュニケーションになる効果も期待できる。

トレーニングには、「オペラント条件付け」を応用した。ある行動を発見したとき、環境の変化を加えるとその発現頻度が増加（または減少）することを意図的に行ってトレーニングするという方法である。

例えば、イルカにジャンプを教えるとする。イルカがジャンプをした⇒すかさずエサを与える。（一次強化子）⇒さらにホイッスル音を鳴らす。（二次強化子）⇒これを繰り返し行くと、イルカは、ホイッスルが鳴ったらエサがもらえるからジャンプをするようになる。これをヤマアラシに応用したのである。

トレーニングの開始は2013年5月2日。1回のトレーニング時間は5分から20分。主に14時からの動物解説中かその後に行った。ヤマアラシの一次強化子には蒸イモ、リンゴ、バナナ。二次強化子にはクリッカー（クリック音）を使った。

トレーニング項目は、①誘導トレーニング ②体重測定トレーニング ③開口トレーニング ④前肢チェックトレーニングの4項目。



誘導トレーニングについて

Step1 クリック音の直後にエサ（一次強化子）を与える。二次強化子であるクリック音とエサの関連付けである。クリック音が鳴ったらエサがもらえる。（いいことがある！と行動を喚起）

Step2 ターゲットバーを鼻先に当てる。（エサを与えて強化）バーに鼻を当てたらいいことがある、と思わせる。

Step3 個体自らターゲットバーへ鼻先をあてに来る。（エサを与えて強化）ターゲットバーを使って飼育係が誘導したい所に誘導できるようになる。

サヤカは2か月、ヒロシは3か月で誘導ができるようになった。老齢でもトレーニングが可能であることが実証できた。（ただし時期により反応にムラあり）

このトレーニングする際は、①体力的・精神的に負担になるようなことは行わない。②従来の飼育方法を考慮し、正の強化を中心に実施する。（基本的に罰をあたえない）③個体とのコミュニケーション（信頼関係づくり）を最優先する。④担当者もヤマアラシも楽しみながらトレーニングする。（個体を必要以上に緊張させない）などを留意して行った。

体重測定トレーニング（77日で体重測定に成功）、開口トレーニング、前肢チェックトレーニングもステップを踏んでトレーニングを行った。（ステップの詳細は略）

トレーニング結果の考察

ハズバンダリートレーニングすることはそれ自体が目的ではなく、動物をできるだけ幸福に飼育するために行う、数ある技術の一つである。担当者との密なコミュニケーションが可能になり、必要以上に警戒しなくなった。

- ・誘導トレーニングを応用すれば、箱入れトレーニングも可能になるのではないか。
- ・体重測定トレーニングによって、有益な客観的指標の蓄積・共有が可能になり、現飼育個体と担当者だけでなく、将来の導入個体やその時の担当者にとっても大きな成果となる。また、季節や年齢による代謝の変化にともなう飼料の選択について評価する物差しになる。
- ・開口トレーニングでは、口内のトラブルの早期発見や門歯の色の違いの発見に役立っている。
- ・前肢チェックトレーニングでは、爪の伸び具合、足の裏の傷のチェックが可能になった。それによって、床材（土、コンクリ）の検討や運動量の予測に有効である。

今後への展望

- ・客観的データの蓄積・共有（他園館とも）が可能になる。
- ・今後の老齢個体のケア、新規導入個体への応用が可能になる。
- ・トレーニング項目・内容・施設を検討すれば他の動物種でも十分可能である。

その後、参加者からの質問に答えていただき研修をおえました。



(記録 H. A. T. T)



ガイド連絡会 報告



2016年8月7日(日) 10:00~12:00 ガイドボランティア連絡会がありました。

参加者 14名

ボランティアの行事の報告(7月)

暑気払いが、7月17日に行われました。

ボランティアの方、動物園の職員さんとたくさんの方が参加され、涼しいところで楽しく行われました。

今日の議題

主に、ナイトガイドのブースをどうするかと9月、10月のツアーガイドの予定を決めることでした。

決まった事

※8月20日にナイトガイドをすることになりました

時間 18:00~21:00まで(17:00頃に来ないと渋滞に巻き込まれることがある
あさひが丘に臨時駐車場、無料シャトルバスがあるので利用してください)

集合場所 リクガメ広場

- 注意事項
- ・ガイドを終了するのがあまり遅いと、帰りに渋滞に巻き込まれてしまうため、終了時間より少し早めに終えて帰りましょう。
 - ・解散は自由。(実際の活動時間は、18:30~20:30頃まで)
 - ・ブースにて各自でしたいこと(ガイド)をする、他のボランティアの方をサポートするなど自分で工夫しながら参加してみてください。
 - ・ナイトガイドに参加して自分のガイドに役立ててください。
 - ・道具(毛皮、骨など)は、混雑するので盗難に気をつけましょう。

ツアーガイド(予定)

9月4日(日)

ガイド時間 10:30~11:30

集合場所 10:00にボラ室

ガイドする場所 ぴーちくパーク

ガイド動物 ヒツジ、ペンギン、カメ

10月2日(日)

ガイド時間 13:30~14:30

集合時間 13:00にボラ室

ガイドする場所 小獣舎、クマ舎、大鳥舎

ガイド動物 キツネ、タヌキ、クマ、トリ

ご案内

○(公財)広島市みどり生きもの協会から

記念樹緑化事業として、人生の節目に記念樹を植えますか?という事業のパンフレットを紹介。詳しくは、「(公財)広島市みどり生きもの協会」のホームページをご覧ください。申し込み締め切りは8月31日(水)(当日消印有効) 選べる木はブルーベリー・ハナミズキなど8種類。

(Kさんより)

○中国新聞社のちゅーピー子ども新聞に福本元園長の「目からウロコの動物話」という記事が連載されています。今回はナイトサファリについての記事。興味ある方はぜひ読んでみてください。興味深いナイトサファリ裏話です。2016年(平成28年)8月の新聞です。(Kさんより)

(報告:H.A)



ひつじ村から...



ひつじ村は、毎月第4日曜日、動物園のどこかで村開き。安佐 ZOO ピーちくパークで暮らすヒツジたちにもらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけ参加でもOK、住民登録随時受付中！

*活動報告

・6月26日(第4日曜日)

病院横にテントを設営してもらい、5月の作業で残っていたシラタマ(♀2007年生まれ)、タマミ(2008年生まれ)の羊毛を洗う作業と並行でマリーゴールドの花で染めました。インディゴで布を染めるのもおまけで！汚毛をさわるだけでは少々つらいので、時々おまけの作業が入るひつじ村です。

・7月24日(第4日曜日)

作業内容:洗った羊毛を解毛、そろそろ12月のフェルト用の準備です。

本年度の羊毛は洗って乾燥した段階で3頭分で合計4.8kg、イベント用には十分。

昨年までの未解毛もまだあります。とはいえ、やはり年に1度の毛刈りに併せての、洗ったり染めたり作業はひつじ村の年度開始の行事としてははずせない作業、無事今年も終了、ヤレヤレです。



* 9・10月のひつじ村予定

・9月25日(第4日曜日) 10:00~15:00

作業予定:12月の「フェルトで雪だるま」に向けての練習など。

・10月23日(第4日曜日) 10:00~15:00

作業予定:12月の「フェルトで雪だるま」に向けての練習など。



Topics2題 あり得ないこと?いいえ あり得るのです!



作業ボランティアのTさん 中国俳壇賞受賞

俳壇賞受賞作品

鳴き砂を踏みて薄暮の琴ヶ浜

【本人感想】

松江フォージェルパークを訪ねた際 初夏の陽気に誘われて「鳴き砂」で有名な太田市仁摩町の琴ヶ浜まで足をのびしました。白砂の海岸線に沿って 行きつ戻りつ心地よい汗をかきました。鳴き砂の感触は勿論 渚の美しさに魅せられ潮の香りが今でも記憶に残っています。



安佐動物公園で詠む

◇ 片陰に 身を寄す山羊の 咀嚼かな

ピーチクパークの日陰で山羊が何時までも咀嚼を繰り返していた

◇ 世界一 長寿の「ハナ」を 訪ふ揚羽

第二クロサイ舎を揚羽蝶が舞ってました。まるで長寿を祝い表敬訪問かと思うほど優雅に

◇ この歳で 酷暑厭はぬ 犀の「ハナ」

【一言】

中国俳壇でのH・Tさんは ペンネーム「武下文比古」として活躍されている常連さんですが 他にも趣味は多彩で以前 北アルプス登山や四国遍路などに挑戦されていました。野菜作りもプロ並みで 菜園では皆の助言者でもあります。



OBボランティア 元会社の広報誌で紹介

ASA ZooボランティアでOBの活動が 元勤務していた会社の広報誌(Friendly 6月号)に紹介されました。OBの親睦旅行やスポーツ大会等が掲載されることはよくありますが 地域での活動が取り上げられることは非常に稀で 社員やOBの皆さんをはじめそれらの家族の皆さんを含め 多くの方々の注目を集めました。



写真は 解説中のOBボランティア

<OBボラのKさん投稿 掲載文>

広島市に唯一ある動物園として長年親しまれている安佐動物公園で 当OB会のメンバー数人がボランティアガイド等に参加しています。一昨年から始まった「動物解説ツアー」でのガイドを務め ツアー客のお子さんやお父さん・お母さんから笑顔と元気を頂き 満足感と次回への反省に思いを巡らせながら刺激のある日々を過ごしています。

<投稿者 T.K>



コラム (動物の名の植物)



イヌビワ (クワ科 イチジク属)

猛禽舎の横に生えている「イヌビワ」。名前にイヌとつくのは小さくて不味というものが多いが、ジャムにすることもできるらしい。実の形がビワに似ているがイチジクの仲間。沖縄ではヤマイチジクといわれる。同じ仲間には麒麟舎に這っている大きい実のイタビカズラがあるが、食べられるのかは不明。



(投稿 : S.N)

偶然、イタビカズラの投稿もいただきましたので紹介します。

イタビカズラ (クワ科 イチジク属)

麒麟舎に生えているが、普通は、山に生えている。枝から気根を出したり、茎がからまったりして木の幹や崖をよじ登る。

インターネットでは、食用と載っていたが、食用ではない、という人もいる。どちらかよく分からないため、食べない方が無難だと思う。イチジクに似ている実をつける。

学名や漢字が分かれば、もっとよく分かると思う。



(左 : 麒麟舎の前、 右 : イタビカズラの実)

(ツアーガイドの前に桑原さんに教えていただきました。 投稿 : H.A)



コラム (本の紹介)



ガイドボラのNさんに、“最近読んで面白かった本”を紹介していただきました。



「人とサルの違いが分かる本」 杉山幸丸編著 (オーム社)

サルを知ることは、人を知ることだ。なぜならサルたちは、私たち人類の直近の隣人だからだ。生物進化のなかでサルが人の親類だということは、1859年にチャールズ・ダーウィンが『種の起源』を公にして明らかにした。繰り返し検討し直されてきたことだが、混とんとした現代だからこそ、人類の未来を誤らないために再度見直してみよう。

項目ごとに話を完結させてあるので、興味のあるところから読んでくださったらよいだろう。たまたま開いたページからでも一向にかまわない。「はじめにより」項目「サルにもメタボはあるか」「ボスの選ばれ方」など

◎動物園ニュース

☆アミメキリンが来園しました

6月27日に高知県立のいち動物公園からアミメキリンの「イブキ」(1歳6ヵ月、雄)が来園しました。8月10日から他の雌4頭と同居し、順調に群れになじんでいます。これからの繁殖に期待です。

☆クロサイが誕生しました

クロサイ「サキ(雌、23歳)」が、8月13日に雌1頭を出産しました。当園でのクロサイの誕生は19頭目、サキの子としては7頭目です。



アミメキリンのイブキ(中央)。
雌4頭と初同居。(8月10日撮影)



クロサイのサキと今回誕生した子
(8月13日撮影)

◎お手伝いをお願いします

全ボランティア対象

☆ZOO Cafe

日時=10月の毎日曜日 13:00~13:30
(集合は12:30)

募集人数=数名

コーヒーなどの飲み物のサービスやお客様の案内など。

☆ZOO スポ!! 動物園で体力測定

日時=10月15日(土) 10:00~12:30
(集合は9:00、解散は13:00)

募集人数=10人程度

測定の補助、お客様の整理誘導など。



ZOO スポ!! 垂直飛びの様子

☆がんばれカープ! カープミニ新幹線に乗ろう

日時=10月22日(土)(予備日23日) 11:00~12:00、14:00~15:00

少雨決行

募集人数=5人程度

お客様の整理誘導・警備など。

ガイドボランティア対象

☆バックヤードガイド

日時=毎週土曜日 11時~、13時半~ いずれも約30分程度 募集人数=2人程度 飼育係による裏側案内の補助、参加者の整理誘導など。

※毎月最終土曜日の午前は「サンちゃんツアー」

※10月より毎月最終土曜日の午後は「クロサイのハナ」になります。お手伝い内容は旧第二サイ舎で行っていたものほぼ同じですが、13:30~と13:45~の2回あること、参加者が10名になることなどが変更となります。

平成28年度 ZOO& ボラ予定表(9月1日～9月30日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
9	1 木 休園日					
	2 金					
	3 土 納涼ナイト・サファリ(点灯式、神楽ステージ)	ゾウ	調理		活動日	
	4 日 納涼ナイト・サファリ(点灯式、どうぶつ絵本の夜) 開園記念行事 一日園長			みんなでガイド		
	5 月			ツアーガイド 10:30～11:30		
	6 火					
	7 水					
	8 木 休園日					
	9 金					
	10 土 マンドリル愛称命名式	病院	ラクダ			
	11 日 防災ひろばin安佐動物公園					
	12 月					
	13 火					
	14 水					
	15 木 休園日					
	16 金					
	17 土 レッサーパンダの日 動物解説	びーちく	クマor 夜行獣		活動日	
	18 日 カエルのための田んぼで稲刈り体験(小雨決行)					
	19 月 敬老の日行事「動物たちの長寿を祝う会」					
	20 火					
	21 水 臨時開園					
	22 木 世界サイの日～クロサイのことを知ろう～					
	23 金					
	24 土 リユース・フリーマーケット	サンちゃん ツアー	ライオン			
	25 日 リユース・フリーマーケット			ひつじ村		
	26 月					
	27 火					
	28 水					
	29 木 休園日					
	30 金					

★ この予定は「ずうばらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認ください。

平成28年度 ZOO & ポラ予定表(10月1日～10月31日)

月日	安佐ZOO				ZOOボラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業	
		AM	PM			
10月1日 土	みんなでおろう どうぶつ折り紙	トラ	スイギュウ		活動日	
2日 日	ZOO Café			連絡会 & ガイド		
3日 月				10:00～12:00 連絡会 13:30～14:30 ツアーガイド		
4日 火						
5日 水						
6日 木	臨時開園					
7日 金						
8日 土	ふりふりバター作り	ヒヒ山	キリン			
9日 日	動物愛好会例会 ZOO Café					
10日 月						
11日 火						
12日 水						
13日 木	臨時開園					
14日 金						
15日 土	ZOOスポ!! 動物園で体力測定	ゾウ	調理		活動日	
16日 日	ZOO Café					
17日 月						
18日 火						
19日 水						
20日 木	臨時開園					
21日 金						
22日 土	がんばれカープ! カープミニ新幹線に乗ろう	病院	ラクダ			
23日 日	ZOO Café			ひつじ村		
24日 月						
25日 火						
26日 水						
27日 木	臨時開園					
28日 金						
29日 土	ハロウィン動物園	サンちゃん ツアー	クロサイの ハナ			
30日 日	計量記念日行事「どうぶつ重さ長さクイズ」					
31日 月						

★ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ボラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認してください。